

# 医療

# 知っておきたい医療知識

シリーズ

歯科治療最前線

## 手術での5つのチェックポイントとは

### 「インプラント治療その② 治療の進め方」

インプラント治療で十分な検査・診断を行うためには「歯科用CT」や「専用機器」が必要となります。さらに手術環境を確実に確かめることも大事です。そこで今月号では「インプラント治療その② 治療の進め方」について、取り上げました。

#### 手術環境もチェックを

インプラント治療を受けるにあたっては、事前の検査・診断を十分に行い、治療計画など綿密にしなければなりません。特に検査・診断においてはレントゲン以外に「歯科用CT」での検査と、骨とインプラント体の付着状態を調べることができる「専用機器」を用いることで、インプラント治療の安全性を高めるといわれています。



熊本インプラントセンター  
添島 義樹 院長  
日本口腔インプラント学会 専門医  
厚生労働省指定 臨床研修指導医  
中島学園非常勤講師

### 専門医からのアドバイス Q&A

外科手術を必要とするインプラント治療には、安心・安全で確実な手術が必要とされます。そこで今回は「インプラント治療その② 治療の進め方」について、添島歯科医院（熊本市桜町）の添島義樹院長に、お話を伺いました。

#### 歯科用CTでの検査や環境も重要

**Q** インプラント治療の検査や診断、治療計画などを教えてください？

**A** まず来院されたその日に手術ということはありえません。患者さんがインプラント治療に適しているのかどうかを判断するため、例えば全身疾患の有無や健康状態、虫歯や歯周病など口腔内の状態、メンテナンスがどの程度かをチェックします。手術が可能な状態

また、インプラント治療で手術を行う場合、安全・安心に行える手術環境も非常に大事です。完全隔離された個室の手術室があればベストですが、ほとんどの歯科医院では確保が難しいのが現状です。その対応策として、熊本市内の歯科医院では「歯科治療で使用するほかの診療台とは完全に区切りをつけ遮断しています。手術スペースには空気清浄機を置くとともに、床や診療台を殺菌消毒剤で拭き上げます。患者さんの口の中も徹底的に清掃し、手術を行います」と話しています。感染を防ぐために、手術環境を整備することが大切です。

もちろん手術に用いる器具関係から術者や歯科衛生士が着用する手術着、帽子、マスク、手袋などすべて滅菌済みのものを使用することが大前提です。

**インプラント専門衛生士は学会認定**  
手術体制については、前述の歯科医院では「基本的には術者が一人、介助者が二人、待機者が一人の四人体制で行っています。手術では

と判断できて初めて検査・診断に入り、さらに具体的にはレントゲンを撮り、さらに歯科用CTで詳しく診ます。レントゲンだけでは顎の骨の厚みや幅、硬さ、密度などは調べることはできません。その点、歯科用CTでは詳しく検査ができますので、インプラントを入れる位置がシミュレーションでき、安全・安心な精度の高い手術が可能となります。ぜひ歯科用CTは受けて下さい。

検査・診断が終われば、治療方針、治療期間、費用、治療の流れなど治療計画を説明します。患者さんはセカンドオピニオンを聞くなどして判断されることも大事です。

### 「インプラント治療その② 治療の進め方」

回法は歯茎の中に全部埋め込み縫合するため、再度切開する必要があるため、それぞれ術後は埋め込んだインプラント体と顎骨が十分に付着する期間が、2カ月から半年前後かかります。この一定期間はインプラントを入れた箇所には負荷がかからない方が好ましいです。インプラント体と顎骨が付着しているかどうかは、専用の機器を使用し、安定率を計測して判断します。完全に付着していることが確認できたら、歯型をとり、そしてインプラント体の上に歯冠を被せてすべてが終了となります。

#### 専用機器で骨との付着を計測

**Q** 検査・診断が終わって治療について納得されて手術に入るわけですね？

**A** そうです。手術室の環境や手術着、器具などすべて滅菌状態に整え手術に入ります。手術は1回法と2回法があります。1回法は歯茎を切開し、インプラント体を顎骨に埋め込みインプラントの頭の部分を少し表面に出し縫合。2

介助者の役割も重要だと話しています。現在、インプラント学会が認定する専門衛生士も増えており、さらに学会認定の「滅菌技士」という資格を持つ歯科衛生士も誕生しています。

不衛生な手術環境や補助する歯科衛生士がインプラント治療についての認識が浅いと、治療が順調に進まないこともあるので、診療所の総合力が問われる分野だといえます。

安全・安心で正確な手術を受けるに当たっての今回の主なポイントは、

- ① 滅菌状態で手術ができる環境にあるかどうか。
- ② 歯科用CTでの検査ができる。
- ③ インプラントと骨の付着を専用機器で調べることができる。
- ④ 学会認定資格を有しているインプラント専門歯科衛生士がいる。
- ⑤ 歯科医から手術前にセカンドオピニオンも勧められる。



（社）日本口腔インプラント学会指定研修施設  
**熊本インプラントセンター**  
添島 義樹 院長  
熊本市中央区桜町1-28 桜町センタービル205  
TEL 0120-354-508  
http://www.soejima-sika.com/

# 医療 ニュース KUMAMOTO

## 月出1丁目胃腸内科内科の診療所を開院

### 元熊本赤十字病院勤務の吉永医師

元熊本赤十字病院勤務の吉永秀哉医師はこのほど、熊本市月出1丁目胃腸内科・内科の診療所を開院した。場所は通称県立大通り沿い、熊本県立大学南西側。院名は「吉永クリニック」。敷地面積500㎡、木造2階建てで、延べ床面積277㎡。1階は受付、待合室（一般用と内視鏡検査用2室）のほか、診察室（2室）、事務室、レントゲン室、更衣室、内視鏡室、リカバリ室などを配置。2階は院長室、診療科目は胃腸内科、内科。胃と大腸の内視鏡システムやエコー、レントゲン、心電図、血液検査機器を導入している。また、有害物質や臭いを除去するタイルやバリアフリーを採用。診療時間は午前9時から正午、午後2時から同6時（水曜の午後は休診、土曜日は午後3時）まで。スタッフは院長以下、看護師、事務など計6人。

吉永院長は「これまでは主に急性期の患者を診てきましたが、今後は地域のかかりつけ医として、総合病院に行く前のつなぎ役を担っていきます」と話している。



▲県立大通り沿いに開院した「吉永クリニック」

## 春日7丁目自由診療のクリニックを開院

### くりあ診療所

生体恒常性（ホメオスタシス）を整えることで疾病の予防や治療を目指す分子整合栄養医学に基づいた医療を提供する。場所はJR熊本駅・新幹線口南側。新築の2階建てテナントビル1階に入居。クリニックの専有面積は約148㎡。診察室、処置室、約51㎡の広めの待合室などを設置している。

診療日・診察時間は当面、月曜日の午前9時～午後2時、土曜日の午前9時～午後5時までの週2回。スタッフ数は医師2人、看護師1人、事務1人の計4人。駐車場は7台収容。近隣の医療機関とも連携し、詳細な問診と血液検査を中心とした診断を行い、予防の見地から個人に対応した栄養素の適量をアドバイスするほか、がん治療の一助となり得るといふ高濃度のビタミンCを、静脈から点滴する高濃度ビタミンC点滴療法も提供する。



▲春日7丁目の新幹線口南側に開院した「くりあ診療所」

#### オンガスを用いた血液クレンジング療法を開始

熊本市下通2丁目のシャワー通りさぬきクリニック（木佐貫浩一院長）はこのほど、酸化療法の一つである「オゾン療法」（血液クレンジング療法）を開始した。

酸化療法とは少量の酸化ストレスを与えることで体が自前で持つ抗酸化力を強化するという治療法で、オゾン療法はオゾンガスを用いたさまざまな治療法の総称。オゾン療法では100cc程度の血液を採血し、血液にオゾンガスを混合し、

20～30分かけてオゾンで活性化された血液を再び体内に戻すというもの。これにより体全体の血流の活性化のほか、抗酸化力の強化や全身の酸素化、末梢血流の増加などが起こるといわれる。

オゾン療法は電話予約後、問診と甲状腺機能検査（必須）とG6PD欠損症（任意）の検査結果を経て実施する。木佐貫院長は「オゾン療法は、抗酸化力の強化による老化防止やアトピー等の肌状態の改善、自前のインターフェロンを増やすことによるB型・C型肝炎への効果や、脳梗塞や心筋梗塞といった虚血性疾患などに効果があらわれる」と話している。



▲酸化療法の一つ、「オゾン療法」を開始した「シャワー通りさぬきクリニック」

#### 服薬しない爪水虫の治療法を開始

皮膚科・アレルギー科のアトピアクリニック（菊陽町幸川、稲葉一院長）はこのほど、爪白癬（爪水虫）の服薬しない治療法を開始した。

治療の名称は「キャップ・オン・ネイル・セラピー」。ブチルゴム製のアプリケーションターと呼ばれるキャップを患部の爪に貼り、その中に液体の水虫薬を注入することで爪に直接浸透させるといふ稲葉院長が考案した治療法。装着と水虫薬の注入にかかる時間は5分程度で、48時間装着する。装着中も靴をはくことができ、運動や入浴などの制限もない。症状によって異なるが、1カ月に1回の治療を半年間続ければ完治するという。現在のところ、治療に用いるアプリケーションターは親指のみに対応している。保険適用外の自由診療となる。治療には事前の予約が必要。同クリニックでは「主流の服薬治療は副作用やほかの薬との相互作用の恐れがあるため、持病を持つ人には向きませんでした。爪白癬治療の新たな選択肢になってほしいですね」と話している。



▲ブチルゴム製のアプリケーションターに液体の水虫薬を注入。装着中も日常生活に制限はない